

私は99年10月から03年の5月まで、韓国に単身赴任していました。ソウルから車で1時間半ほどの仁川で、日本人には馴染みの深いところでした。

日清戦争時、日本軍が上陸したところであり、また朝鮮戦争時はマッカーサー司令官が周囲の反対を押し切って強行に国連軍を上陸させたところでした。⁶

昔、日本人は「じんせん」と日本読みし、今は「インチョン」とハングル読みしている所です。

私の役目は、この仁川の海の沖合9kmにある人工島に、LNG備蓄地下タンクを造る仕事でした。

地図を見て頂くとお分かりのように、北朝鮮とは非常に近く、しかも海で繋がっております。勿論、海にも国境があり、お互いに主張は異なっております。時折、韓国の艦船や島の軍需設備が北朝鮮から攻撃を受けましたが、私のいたところからは非常に近い所でした。そのようなことから我々の職場人工島は、昼は民

間警備であったが、夜の8時から朝の6時までには軍隊の管理下にあった。

我々が住むマンション群の近くの道路も幅80mほどあり、真直ぐでまっ平。交差する道路もそれなりの幅がありました。街灯や道路標識も全てポルト固定で、いざとなればいつでも仮撤去でき、道路は戦闘機の離発着場となります。交差道路は戦闘機の待機場となるので交通量に見合わない広さがあります。

この道路の脇に地下鉄が走っていましたが、駅の柱は異常に太く、ここがいざとなればシエルトの役目をするのは我々にも十分察しがつきます。

私のほぼ4年に及ぶ赴任中の中頃の01年8月の終わり頃より、急に人工島の昼間の管理も軍隊となり厳しくなりました。なぜだろう？また北朝鮮から何か挑発されているのだろうか と話していました。

そんな時に、私は9月12日、朝鮮半島西南にある木浦（モツポ）に韓国観光局長と視察に行くことになりました。300kmほど離れているでしょうか。

ところが前日になり急に列車で行くことに変更。調べてみると台風や気象状況に別段、問題はありませぬ。第一、飛行機は飛んでいるのです。

ともかく、朝が早いので前日は早く寝て、翌日早朝ソウル駅へ。そして駅構内のTVを見てびっくり。

何回も何回もあのツイン・ビルにジャンボ機が突っ込んでいくシーン。列車で木浦に向かう途中、この数日の疑問が解けて行きました。詳細はともかく、近々、世界のどこかで、それも米国が関係する国、場所で、アルカイダによるテロ行為が起こると一部の米国情報機関は把握し、全世界に流していたのであろうと推測できました。勿論、日本にも。

そして、前日にはそれが11日であることも。勿論、極秘情報として。でなければ、私の木浦視察の交7通手段が、突如、飛行機から列車に変わるとは考えられません。勿論、観光局長と一緒だったからで、我々日本人のみあるいは一般・韓国民間人だけであれば、予定通り、飛行機が使用されただろうが。